

豊かな活力ある町づくり

よなぐにちょう

# 与那国町

市町村コード	473821	類型	I-2
所在地	〒907-1801 与那国町字与那国129番地		
T E L	0980-87-2241	F A X	0980-87-2079
ホームページ	http://www.town.yonaguni.okinawa.jp		
指定地域	離島・過疎・辺地・農業振興・産業高度・観光促進		

〈組織〉 (令和3年3月31日現在)

町長	ほかましゅきち 外間 守吉 任期 R3.8.27 (4期)	副町長	-
副町長	-	教育長	たはらよしあき 田原 伊明 任期 R5.3.18 (1期)

議長	まえにしはら たけぞう 前西原 武三	副議長	さきもととしお 崎 元 俊 男
議員	条例定数	現議員数	任期満了日
	10	10	R4.9.27
	常任委員会	党派構成	無所属
	無	4 6	- - - - - - - -

R2.4.1現在	合計	普通会計	特別会計
職員	73 人	71 人	2 人
人口千人 当たり職員数	42.55 人	41.38 人	1.17 人
各4.1現在 職員数 (普通会計)	令和2年度 71 人	令和元年度 68 人	平成30年度 72 人
類似団体	-	34 (43)	33 (45)
ラス指数	83.4	84.5	82.3

※類似団体()は修正値。ラス指数の()は国家公務員の給与改定特例法による減額措置が無い場合。

〈町の花・木・鳥・魚/名所・旧跡/祭・行事等〉

町花	ユリ	町木	クバ
町鳥	メジロ	町魚	カジキ
名所・旧跡	東崎、西崎、天蛇鼻、立神岩、クブラバリー帯、海底遺跡、Drコト診療所撮影ロケセット、日本最西端の碑		
祭り、行事	海神祭、豊年祭、カジキ釣り大会、与那国島一週マラソン大会、ドナンスンカニ大会		
名産・特産	花酒、カジキマグロ、クバモチ、長命草、クシテイ		
姉妹都市	中華民国台湾省花蓮市		
その他	礼文町・与那国町友好交流協定		

〈広域市町村圏・広域計画〉

八重山広域市町村圏
-
-
-

〈基地面積〉 (R2.3末)

米国軍	
基地面積	0.0 ha
市町村面積に占める割合	0.0%
自衛隊	
基地面積	29.3 ha
市町村面積に占める割合	1.0%
合計	29.3 ha
県面積に占める割合	0.01%

〈概要〉

県下 21 位	総面積 R2.10.1	耕地 R2.7.15	宅地 R2.1.1
	28.90 km <sup>2</sup>	511 ha	525,242 m <sup>2</sup>

県下 32 位	住基人口 R2.1.1	H27国調人口	H22国調人口
	1,716 人	1,843 人	1,657 人
年少人口割合	12.5% (県全体 17.5%)		高齢化率 18.5% (県全体 19.6%)

住基世帯数 R2.1.1	H27国調世帯数	H22国調世帯数
957 世帯	1,080 世帯	713 世帯

有権者数 R3.3.1	男	女
1,347 人	747 人	600 人

沿革

大正3年4月1日	八重山村より分離
昭和22年12月1日	町制施行
-	-
-	-
-	-

〈基本構想〉

基本構想	H23～R3	中長期財政計画	無
基本計画	H28～R3	( - - )	
実施計画	R2～R5	( 3年計画 1年ローリング )	

〈令和3年度主要事業〉

(百万円)

区分	事業名	新・継	事業費
補助	農業水路等長寿命化・防災減災事業(立田神地区)	継続	297
補助	町営住宅建替事業	継続	104
補助	樽舞1号線外2道路改良事業	継続	98
補助	祖納集落内線道路改良事業	継続	50

〈今後の主要プロジェクト〉

(百万円)

区分	事業名	実施年度	事業費
補助	町営住宅建替事業	H25～R5	976
補助	簡易水道施設整備事業	H29～R8	1,793
補助	樽舞1号線外2道路改良事業	H30～R5	316
補助	与那国町総合食育センター整備事業	H30～R4	28

〈教育〉 (令和2年5月1日現在)

区分	施設数	児童生徒数
公立幼保認定こども園	0 園	0 人
町立幼稚園	3 園	35 人
町立小学校	3 校	135 人
中学校	2 校	50 人
町立	2 校	50 人
町立以外	0 校	0 人

〈医療〉 (令和元年度)

区分	施設数	病床数
病院	0 箇所	0 床
町立	0 箇所	0 床
町立以外	0 箇所	0 床
診療所	2 箇所	0 床
町立	1 箇所	0 床
町立以外	1 箇所	0 床
住民千人当たり病床数		0.0 床

〈財政〉

① 決算収支 (百万円)

区分	H29年度	H30年度	R元年度
歳入総額	3,184	4,006	4,315
歳出総額	2,927	3,665	3,885
形式収支	257	342	430
実質収支	236	252	228
比率	15.1%	15.8%	13.8%
積立金	250	411	240
積立金取崩額	0	400	190
実質単年度収支	115	27	26

③ 公営事業会計等における繰入金の状況 (R元年度 百万円)

区分	実質収支	繰入金	うち財源補填的繰入金
国民健康保険事業	22	22	6
老人保健医療事業	0	0	-
介護保険事業(保険)	38	45	-
後期高齢医療事業	3	4	-
区分	実質収支	繰入金	うち基準外繰入金
法非適			
簡易水道事業	△119	91	66
下水道事業	26	33	23
-	0	0	0
-	0	0	0
-	0	0	0
法適			
-	0	0	0
-	0	0	0

④ 歳入の状況 (R元年度 百万円)

区分	金額	構成
地方税	243	5.6%
地方譲与税	32	0.7%
地方交付税	1,538	35.6%
普通交付税	1,309	30.3%
特別交付税	229	5.3%
国庫支出金	740	17.1%
県支出金	534	12.4%
地方債	388	9.0%
その他	840	19.5%
歳入総額	4,315	100.0%

⑤ 歳出の状況 (R元年度 百万円)

区分	金額	構成
人件費	558	14.4%
物件費	777	20.0%
扶助費	102	2.6%
補助費等	338	8.7%
公債費	303	7.8%
普通建設事業費	1,176	30.3%
補助事業費	899	23.1%
単独事業費	268	6.9%
その他	631	16.2%
歳出総額	3,885	100.0%

〈産業〉 ① 産業別就業者数 (H27国調)

区分	就業者数	構成比
第1次	142 人	10.8%
第2次	544 人	41.3%
第3次	630 人	47.9%
合計	1,316 人	100.0%

〈福祉〉

区分	施設数	収容定数
保育所(R2.4.1)	1 箇所	46 人
町立	1 箇所	46 人
町立以外	0 箇所	0 人
生活保護率(R元年度平均) 人口千人当たり		13.33 人

② 町内総生産 (H29年度実数)(百万円)

分類	純生産	構成比
農林	220	3.6%
水産	113	1.9%
鉱・製造	571	9.4%
建設	1,311	21.5%
電気ガス水道廃棄物	181	3.0%
運輸・郵便・通信	399	6.6%
卸売・小売	168	2.8%
金融保険不動産	312	5.1%
宿泊・飲食サービス	538	8.8%
専門・科学技術支援	255	4.2%
公務・教育	1,317	21.6%
保健衛生社会	405	6.7%
その他サービス	299	4.9%
合計	6,089	100.0%

② 主要指標 (百万円)

区分	H29年度	H30年度	R元年度	順位	県平均	市平均	町村平均
財政力指数	0.14	0.14	0.15	32	0.39	0.55	0.33
標準財政規模 a	1,565	1,598	1,654	31	8,519	23,170	3,148
経常収支比率	76.9	84.9	85.0	11	89.6	91.1	86.0
人件費	27.4	29.6	27.1	28	23.6	22.9	25.4
扶助費	1.7	2.4	0.6	1	17.2	20.6	8.5
公債費	14.7	16.1	17.1	27	14.1	14.3	13.3
物件費	21.0	22.0	22.8	38	15.1	14.8	16.1
その他	12.1	14.8	17.4	16	19.6	18.5	22.7
実質赤字比率	-	-	-	-	-	-	-
連結実質赤字比率	-	-	-	-	-	-	-
実質公債費比率	4.7	5.4	6.3	17	7.5	8.0	6.4
将来負担比率	-	-	-	-	23.0	39.9	-
税徴収率	96.6	96.4	96.6	19	0.0	0.0	0.0
現年課税分	98.8	98.6	98.9	14	0.0	0.0	0.0
滞納繰越分	34.6	24.7	23.4	36	0.0	0.0	0.0
債務負担行為額 b	2,604	0	0	-	-	-	-
b/a %	166.4	0.0	0.0	-	-	-	-
地方債現在高 c	2,380	2,390	2,503	-	-	-	-
c/a %	152.1	149.6	151.3	13	-	-	-
積立金現在高	2,385	2,341	2,354	-	-	-	-
財政調整基金	1,393	1,404	1,454	-	-	-	-
減債基金	17	17	17	-	-	-	-
その他特目基金	975	920	882	-	-	-	-
住民1人当たり税負担(円)	124,405	128,874	141,654	33	-	-	-
自主財源比率	28.6	29.9	24.0	32	-	-	-

〈行政の特色〉

豊かな自然環境を最大限に活かした、活力ある町づくりの将来像。対外交流、地場産業の育成及び住民参加で進取と活力に満ちた自立する町づくりに取り組んでいる。